

## 災害時にも“電力を運ぶ”EVの力を実演

### 九都県市合同防災訓練にてbZ4X給電デモンストレーションを実施

2025年11月9日、昨年に引き続き、花見川区の重点訓練会場であるこてはし台中学校体育館にて開催された「九都県市合同防災訓練」に参加し、電気自動車 bZ4X による給電デモンストレーションを実施しました。

訓練では、bZ4X からテレビ・DVDプレーヤー・電気給湯器・スマートフォンなどの電化製品へ電力を供給。災害時における電気自動車の有用性を、参加された多くの方々に体感いただきました。

当日はあいにくの雨で肌寒い天候ではありましたが、花見川区長をはじめ、市役所職員、自治体関係者、地域住民の皆さまなど、多くの方にお越しいただき、会場は熱気に包まれました。

見学された方々からは「災害時の新たな選択肢として期待できる」「クルマの新しい使い方を知った」などの声が寄せられ、EVが脱炭素の推進だけでなく、非常時の安心インフラとしても期待されていることを改めて実感する機会となりました。

また、先月発売された新型bZ4Xの航続距離や充電性能の進化にも関心が集まり、EV技術の進歩にも多くの注目が寄せられました。

勝又自動車では、「EV＝移動できる電力」として捉え直し、充電設備の提案・設置や体験イベントなどを通じて、“エネルギーで支える暮らし”の実現に取り組んでいます。今後も、災害対策や地域連携を含む多面的な活動を通じて、安心・安全な社会づくりに貢献してまいります。

